

後援会だより

医学部後援会

私どもと順天堂大学とのご縁は、娘が2003年に医学部に入学して以来となります。早いもので14年目になりました。娘の入学と同時に、私と家内も「保護者会」の会員となり、様々な機会に先輩諸氏、大学の皆様から貴重なアドバイス、情報をいただいております。

娘は、2009年に卒業し、国家試験を経て研修医として浦安病院にお世話になりました。同時に私どもも「後援会」に入会、引き続き保護者会と同様多くの適切なアドバイス、情報をいただくことが出来ました。

娘は2010年に結婚、2011年に大学院に進学、2012年には長女が誕生しました。大学キャンパス内の「順天堂もとまち保育所」のおかげで、学び働きながら子育てが出来ましたことを、大変感謝しております。

私どもは医者ではありませんでしたので、娘のサポートをする上で、「保護者会」、「後援会」を通して、医療全般に関する様々な気付きがありました。それが、親子の意思の疎通、コミュニケーションに大変に役立ちました。

すでに会員の皆様にも、これから後援会に入られる皆様にも是非、毎年6月に開催される「総会」、「ホームカミングデー」に積極的にご参加をいただき、後援会の雰囲気味わうと同時に、多くの有意義な情報に触れていただきたいと思います。

またこの10月には、毎年恒例の会員有志による1泊旅行が、箱根の富士屋ホテルにおいて行われ、楽しい懇親の場となりました。ぜひ来年は、更に多くの方々の参加をお待ちしております。



10/1～2、富士屋ホテルにて

(医学部後援会 副会長 小笠原 範之)